

楽しいカルタを いつまでも続けたい



前田 はやて 颯君 (6年生)

松賀 まつがみのり 穂梨さん (6年生)

寺島 ひなた 陽さん (5年生)

鈴木舞依さん (6年生)

当別町子ども会育成連合会主催の第46回新春子どもカルタ大会で昨年に続き優勝し、2月19日に定山溪で開催される全道大会への出場を決めた栄町青少年育成会の選手4人にお話を聞きました。

栄町青少年育成会

カルタは楽しい

年長 の時から始め、最初はなかなか文字が読めなかったけど、2年生のころには全部の札が取れるようになりました。相手より先に札が取れるようになると、おもしろくなって、カルタが楽しくなりました。

(前田君)

5歳 のころからお兄ちゃんの練習について行って、見学していました。本格的にやり始めたのは、1年生になってからです。大会や試合の時、始めは緊張するけどその緊張感がだんだんと楽しさ変わってくるんです。

(松賀さん)

お姉 ちゃんがやっていたし、お父さん・お母さんも子どものころやっていたから、物心がついたころには始めていました。相手の札を取った時や、札をたくさん取れた時はとてもうれしいし、楽しいです。

(寺島さん)

全く やるつもりがなかったけど、3年生のころ、お兄ちゃんの練習について行ってカルタをやることになりました。練習に人が足りなかったの、嫌々ながら参加したけど、やっているうちに、カルタの楽しさにはまっていました。

(鈴木さん)

全道を目指した当子連大会

今年 のチームの中で僕を除いた3人が昨年も全道大会に行っていて、定山溪のホテルで「プールで遊んだ」とか「カニを食べてきた」という話を聞いて、「全道大会に行っていっぱい楽しみたいな」という気持ちが強くなりました。

(前田君)

昨年 の全道大会では2回戦目で負けてしまったので、もう一度全道大会に行つてその悔しさを晴らしたいと思っていました。今年の当子連の大会で優勝し、全道大会への出場が決まった時は、みんなで泣いて喜びました。

(松賀さん)

全道大会の目標は

今 のチームは負けそうなので、「手元や相手の持っている札が何か」とか、しっかりと声かけをして試合に臨みたいです。

(寺島さん)

勝ち たい目標はあるけれど、声をかけ合いながら、集中してカルタをみんなで楽しみたいです。

(鈴木さん)

(2月11日取材)



全道大会の様子

取材後の2月19日に行われた全道大会では、札を2・3枚残すだけの大接戦となりました。残念ながら2回戦進出とはなりませんが、この悔しさをバネにした、今後の活躍に期待します。